学校だより　No.30　　2022 年 1 月 25 日

梨の花

市川市立稲荷木小学校
〒272-0024　市川市稲荷木 1－14－1　℡　376-5961
http://www.toukagi-syo.ichikawa-school.ed.jp

感染症研究に貢献してきた日本

校 長　清田　博之

１ 年で最も寒い季節を迎えました。コロナウイルス感染症だけでなくインフルエンザの流行も心配される季節です。そこで、日本の感染症研究の歴史について紹介したいと思います。

まずは、千円札に肖像画が描かれている医学博士の野口英世についてです。野口英世は、南米エクアドルで流行していたワイル病の病原菌を特定してワクチンを開発し、収束させました。彼は、その後、アフリカに渡り、そこで黄熱病の研究をしているときに自らも感染して亡くなるのですが、今でも彼の功績を称え、感謝する人々が世界にたくさんいます。

また、近代日本医学の父と呼ばれる北里柴三郎は破傷風菌の純粋培養に成功し、血清療法という治療法を確立しました。さらに、全世界で猛威をふるい「黒死病」と呼ばれたペストの原因菌を発見し、その後の治療法につなげました。

最近では 2015 年にノーベル医学・生理学賞を受賞した大村智博士のイベルメクチンの開発も有名です。イベルメクチンは、生き物の体内に寄生する寄生虫を駆除する薬です。熱帯地方には、寄生虫が原因で視力を失うオンコセルカ症という病があります。この薬は、数千万人もの人を治療し、数万人という人々を失明の危機から救うことができたといわれています。このように日本の感染症の功績は、今なお、世界の人々の大切な命を救うことに貢献しているのです。

日本は昔から感染症対策に国を挙げて取り組んできた歴史があります。第一次世界大戦後に世界的に大流行を見せたインフルエンザ、いわゆるスペイン風邪が流行したときには、公衆衛生の大切さが広く認識されるようになりました。手洗いやうがい、マスクの着用、食後の歯磨き、毎日の入浴など、今では当たり前になっている公衆衛生が感染症の予防には大変効果的です。日本の新型コロナウイルス感染症の感染者数や死亡者数が世界的に見ても少ないのは、公衆衛生に対する国民の意識の確かさが影響しているともいわれています。

日本赤十字の資料によると新型コロナには３つの感染という顔があるそうです。第１は、「病気そのもの」、第２に感染症に罹ることへの「不安と恐れ」、第３に「嫌悪、偏見、差別」です。ここまで学校、市川市、千葉県、国が総力を挙げて取り組んでいる感染防止対策に、ご理解、ご協力いただいてきました。しかし、中には独自の考えに固執したり、100%の安全を求めたりするために誹謗中傷行為も起きているようです。人に対する誹謗中傷行為は、自分から人としての価値を下げる行為でもあります。相手を思いやる、人のために働く、そっと寄り添う、相手の考えをよくきき共感する、社会貢献の気持ちをもつことなど、その大切さや素晴らしさ実感することがその対極にあります。私たちは、これまでこの国が長い歴史の中で築き上げてきた「人間尊重の精神」と「感染症対策の成果」をさらに高めていかなくてはなりません。一人一人が生成行動を徹底するとともにコロナウイルスに対して正しく恐れ、正しい情報を選択し冷静な判断を意識して生活していきましょう。

☆３月までの学校行事の変更について

　オミクロン株によるコロナウイルス感染拡大により、ここ１～２週間で、市内の各学校でも児童生徒の感染者数が急増し、学級閉鎖や学年閉鎖（中には休校も）の措置をとる学校も出てきました。本校でも、感染症対策として以下のように学校行事の予定について変更させていただきます。

変更した学校行事について

・１月 21 日（金）に予定されていた５年の鴨川シーワールドへの校外学習は、２月中旬以降に延期しました。（詳細時期未定）

・１月 31 日（月）～２月 18 日（金）
校内書初め展は、保護者の皆様に来校していただく形での実施はしません。
動画配信又は学級便り等でご覧いただきます。

・２月１５日（火）　１～５年の**授業参観は中止**。
懇談会は **ZOOM でのオンラインによる実施**。
※２月 18 日（金）の６年生の授業参観・懇談会については実施予定ですが、もうしばらくの間、感染状況をみたうえで最終決定とします。
（決まり次第、お伝えします。）

・２月 24 日（木）　保護者の皆様に**参観していただく形での音楽会は中止**。
児童の発表については**録画したものを動画配信**する予定です。

※その他の行事につきましては、現在のところ予定どおり実施としますが、感染状況により変更する可能性があります。

校内書初め会　１月 19 日・20 日

☆各学年の書初めの題材
１年：「お正月」　２年：「元気な子」（１・２年はフェルトペン）
３年：「友だち」４年：「美しい空」５年：「世界の国」６年：「伝統を守る」

　子どもたちは、気持ちを込めて一画、一画丁寧に書きました。ご指導いただいた中山先生、權野先生によると「だいぶ上達が見られました」とのことでした。